

網膜剥離の手術を受けた患者さんの 情報の研究利用についてのお知らせ

この度国立病院機構東京医療センター眼科では、「硝子体手術における内境界膜剥離の網膜構造と視機能に対する影響」に関する研究を行うことになりました。

この研究の目的は、網膜剥離の患者さんの術後経過を調べて、手術方法が網膜の形状と視機能にどのような影響を及ぼすかを明らかにすることです。

この研究のため、2006年4月1日より2030年12月31日までに治療した方の診療録、検査データの調査を行います。対象となるのは網膜剥離の手術を受けた方で、調査項目は個人情報を含まない医学的な情報（治療経過、画像解析結果など）のみです。患者さんのお名前、住所などのプライバシーに関する情報が外部に漏れることは一切ありませんのでご安心下さい。

調査したデータは、本研究の責任者のもとで厳重に管理されます。また、今回の研究で得られた結果に関しては、医学的な専門学会や専門雑誌等で報告されることがあります。

また、ご自身のデータを研究に利用することを承諾されない方は下記にご連絡下さい。その場合も、診療上何ら不利な扱いを受けることはありません。

この件に関しましてご質問等がございましたらご遠慮なくお尋ね下さい。

2025年12月

東京医療センター 眼科

研究責任者 秋山邦彦

連絡先 東京医療センター眼科外来

Tel:03-3411-0111